

鷹栖町独自制度で 給食費(主食費・副食費)を負担！！

※町内居住者のみ

第4回臨時会

8/30

町独自の子育て制度可決

幼児教育・保育の無償化のあらまし

令和元年10月から国の制度で保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳児クラスの子ども、住民税非課税世帯の0歳から2歳児クラスの子供の利用料が無料になります。

臨時会では無償化に伴い関連する条例を改正しました。また町独自で給食費の助成をするため予算を補正しました。

【補正予算】 食材料費助成金

185万円

認定こども園や認可外保育施設に通う就学前子供の保護者に対し、施設が徴収する食材料費を助成します。

保育園分については条例で食材料費を徴収しないことになっています。

片山議員 町では主食費

の助成として1人当たり1000円の補正予算を計上していますが、実費がこれを超えた場合、国が目安としている3000円までは対応する考えですか。

答弁

各園で聞き取りしたところ、主食費は500円から800円程度かかっていますので、補正予算上では1000円を見込んでいます。実費が上がったときには、別途協議します。

利用者の声を聞きました！



鷹栖町では、無償化にあわせて、給食費を負担することにしました。どのように感じていますか？
また今後、子育て環境の充実に必要だと思うものは何ですか？



内藤恵美さん
(写真はお子さん)

給食費も無償化になつてうれしいです。旭川の方にも鷹栖町は子育てしやすい町だねと言われ、移住してくる人も今後期待できるのではないかと思います。
コオーデイネーション運動が子供の成長にとっても良い効果があると思います。
今は幼稚園で2カ月に1回行われてると聞いたのですが、もう少し頻度を増やしてほしいです。



舟根あきえさん
(写真はお子さん)

月額かかっていた金額が習い事や教育費など他のところで使えるようになるので、とても助かります。子供にかかる金銭的な負担が減ると人口の増加に繋がると思います。
任意の予防接種の助成を増やしてほしいです。



片方かなさん
(写真はお子さん)

とてもありがたいことです。利用者が増えることで子供だけでなく親にとっても良い交流の場になりそうです。
幼児だけではなく高校を卒業するまでにかかる費用に対する何らかの助成制度の拡充を期待します。



齊藤議員と新人議員5名が参加しました



議会広報研修会に参加

視察で来町も

広報広聴常任委員会

全道町村議会
広報研修会

ポールスター札幌

8/20

「読者目線で親切な広報誌を作るには」というタイトルで『月刊総務』編集長



講師の豊田健一氏

の豊田健一氏が講演されました。

研修後、取り入れたいことを協議しました。今回の講演から今後取り組んでいく内容は次の通りです。

● 課題性の可視化

議会としてはどう考えるのか、何が問題なのかなど課題性が見えるような紙面作りをする。

● 語り部を変える

住民が関心を持っている課題を読者目線で発掘し、共有する。当事者意識が湧くよう住民に語り部となってもらう。

● 読後感を意識

内容によってはターゲットを絞り、読後感を意識したページづくりをすることも必要。

● 丁寧な解説を

「移住してきて3日目でも町・議会のことが分かる議会報」づくりを心掛ける。

この他、「キャプションは写真の説明で終わらせず、本文で書けなかった伝えたいことを書く」「専門用語集をおくなどwebを活用する」ことにも取り組んでいきたいと考えています。

視察受入 十勝清水町議会 広報広聴常任委員会 が来町



木下議長と片山委員長が対応しました

10/3 今年から議会報を大幅にリニューアルするなど改革を進めている十勝清水町議会の皆さんが鷹栖町議会の広報広聴の取り組みを視察されました。

議会広報発行までの流れや議員の編集への関わり方などを説明した後、質問を受けました。清水町議会ではスケジュールや用語集をwebで公開するなど先進的な取り組みしており、有意義な情報交換をすることができました。



「地域を語ろう会」開催に向けての協議も継続中です！



本会議前には議員協議会、各常任委員会、議会運営委員会を開催しています。また議会報編集や追跡レポート編集などのため広報広聴常任委員会を開催しました。

活動の詳細はwebページでも確認いただけます。

